

平成20年10月24日

各 位

上場会社名 GMB(株)
 代表者 代表取締役会長 松岡 信夫
 (コード番号 7214)
 問合せ先責任者 専務取締役 阪口 有一
 (TEL 0745-44-1911)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,300	1,550	1,570	660	126.63
今回発表予想(B)	19,950	1,550	1,600	790	151.58
増減額(B-A)	△1,350	0	30	130	――
増減率(%)	△6.3	0.0	1.9	19.7	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	22,138	1,667	1,662	625	119.99

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	43,000	2,700	2,750	1,200	230.24
今回発表予想(B)	39,000	1,700	1,800	900	172.68
増減額(B-A)	△4,000	△1,000	△950	△300	――
増減率(%)	△9.3	△37.0	△34.5	△25.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	44,190	2,986	2,773	1,208	231.81

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,400	400	490	295	56.60
今回発表予想(B)	8,750	650	740	440	84.42
増減額(B-A)	350	250	250	145	――
増減率(%)	4.2	62.5	51.0	49.2	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	8,096	378	486	294	56.55

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	900	980	590	113.20
今回発表予想(B)	17,000	1,100	1,120	650	124.72
増減額(B-A)	0	200	140	60	――
増減率(%)	0.0	22.2	14.3	10.2	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	16,214	876	891	546	104.87

修正の理由

個別業績につきましては、国内外の販売が順調に推移したことに加え、海外生産移管などの合理化効果などにより、中間期につきましては、当初予想を上回る見通しであります。一方、通期につきましては、急激な為替変動と世界的な新車販売の低迷による販売面の減速に加え、調達コストの上昇の影響もあり、下半期の業績は悪化する見込みであるため、通期では当初予想をわずかに上回る見通しであります。

連結業績につきましては、上記個別業績が改善する一方で、韓国の連結子会社の販売が新車販売の減速の影響を受けるほか、海外子会社においては想定以上の調達コストの上昇や、急激な為替変動が続いており、上半期時点では当初予想程度の水準となる見通しですが、下半期は採算面で大幅に悪化する見通しであります。また、韓国ウォンの急激な下落は、比較的規模の大きい韓国子会社の現地通貨建て財務諸表の円換算にも影響を与えております(韓国子会社の通期にあたる2008年1月から12月までの想定換算レート0.11円/KRWから0.10円/KRWへ修正)。

なお、平成21年3月第2四半期決算短信は平成20年11月7日に開示する予定であります。

※ 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上